

令和5年度地区懇談会（登別温泉地区） 議事録（概要）

令和5年10月3日（火） 14:00～15:55

泉和園 出席者10名

4. 市からの情報提供事項：コロナワクチン令和5年秋開始接種について

質問：登別温泉湯の花町内会長

- ・ 過去にワクチンを接種して亡くなったり、後遺症が出たりした方がいるという話を聞いたことがあるが、私はその不安から4回目以降接種していない。ワクチンの安全性に関する情報はどこで確認できるか。

回答：保健福祉部次長

- ・ ワクチンに関する情報は基本的に厚生労働省で公開していると思われる。市で把握している中では、ワクチン接種が原因で亡くなった方はいない。ただし、ワクチン接種との因果関係が否定できない健康被害が認定された方は数名いる。

質問：登別温泉湯の花町内会長

- ・ 自分の場合は持病があり、接種することへの不安と接種しないことで新型コロナウイルス感染症が重症化することの不安がある。そういった相談はどちらにしたらいいか。

回答：保健福祉部次長

- ・ かかりつけ医に相談のうえ、ご自身で判断いただきたい。

質問：登別温泉湯の花町内会長

- ・ 現在、新型コロナウイルス感染症になった場合、通常の保険診療分の負担となると聞いたが、後期高齢者でも同じか。

回答：保健福祉部次長

- ・ 例えば後期高齢者の1割負担の方について、薬剤費は一部公費負担となり自己負担上限額が3000円、2割負担の方で6000円、3割負担の方で9000円となった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の治療薬は価格が高いため、このような措置となっている。

4. 市からの情報提供：登別温泉浄水場を更新しています

意見：登別温泉紅葉谷町内会

- ・ 建設中ということだが、市営住宅に住んでいる方が21時半頃に車が通れないことがあったとのこと。道路を塞ぐような工事がある場合には前もって近隣住民に周知がある

と思うが、見落としていたのかも知れないと話していた。

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 浄水場建設地付近の見晴団地について、令和7・8年頃に解体する予定という話だが、入居者から転居先の相談や案内はいつ頃あるのかという質問があった。

質問：登別温泉紅葉谷町内会

- ・ 紅葉谷団地も見晴団地と同じく解体予定であり、入居者から今後の転居の時期等の見通しについて質問があった。冬に向かう時期ではない方が良いとのこと。

回答：都市整備部長

- ・ 見晴団地は用途廃止する予定であるが、解体については見通しが立ち次第お伝えしたい。紅葉谷団地についても用途廃止は決まっているが、退去については数年程度の猶予を見込んでお伝えする考え。
- ・ 転居先についてはアンケートを行っているが、一番近い登別旭団地が概ね埋まっている状況。空き状況や希望に添った形で進めたいと考えており、猶予を見てお伝えしていきたい。

6. 個別避難計画の策定に向けた取り組みについて

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 登別市社会福祉協議会で行っている冷蔵庫に保管する安心キットと、この個別避難計画の台帳は合致するのか。

回答：市長

- ・ 平時は小地域ネットワークの枠組みで動き、有事の際は小地域ネットワークの情報も共有してもらって対応を行う。
- ・ 冷蔵庫保管の安心キットについては小地域ネットワークの行っている活動で、平時に消防が救助に入った際に活用される。個別避難計画は自宅から避難所に避難する際に用いられるものであるため、安心キットは基本的に利用しない。

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ この「わたしの避難シート（個別避難計画）」はどう活用されるのか。

回答：総務部次長

- ・ 各町内会など避難を支援する側の方がこの情報を共有して持つことになる。災害が起きて避難する際に、この情報を基に支援が必要な方の自宅に向かうという想定である。

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 登別温泉地区では、避難の際に支援が必要な方のリストを町内会長が保管しているがそれと同様か。

回答：総務部次長

- ・ 仕組みとしては同じである。これから各地区で市の防災担当者と協議を行っていくこととなるが、町内会独自で把握している一覧などがあればそれをベースにつくっていかると考えている。

回答：市長

- ・ 災害といっても、登別温泉地区で想定される災害は津波ではなく噴火や土砂崩れである。想定される災害が違えば、避難支援が必要な方も変わってくると考えられる。
- ・ 市の防災担当はあくまでもそのベースをつくるお手伝いをさせていただき、具体的な個別避難計画の策定については、小地域ネットワークや町内会単位の力が重要となる。これから話し合いを重ね、2カ年か3カ年を掛けて進めさせていただきたい。

8. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項

(1) 再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドライン施行後の状況について

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドラインが令和5年4月1日から施行されたが、その後、発電設備の設置申請の状況をお聞きしたい。

回答：観光経済部次長

- ・ 登別市再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドラインの届出状況は、本ガイドラインが施行された令和5年4月1日から8月末までで3件となっている。

質問：登別温泉地区連合町内会長

- ・ その3件の場所はどこか。

回答：観光経済部次長

- ・ 1件目は千歳町で岡志別の森運動運動から登別温泉町へ向かって行った先にある、高速道路手前の下あたり。2件目が来馬町の青藍牧場を少し過ぎたあたり。3件目は富浦町1丁目で、国道36号から富浦町に向かってJR富浦駅の手前の海側になる。

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 上登別町の既に発電施設が設置されている場所の向かいに新たに発電施設がつけられる計画があるような話を聞いたが、市に情報は入っているか。

回答：観光経済部次長

- ・ 現在、具体的な話はきていない。ガイドラインに関しての届出や事前の説明会、必要な景観等の配慮、植樹等の措置、災害防止の措置など必要なことはお話ししているほか、登別の自然を守る会と協議をしている状況と思われる。

意見：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 該当の場所に関しては市街化区域であると思われる。ガイドラインでの規制が効かないのであれば条例の制定も考えていただきたい。

意見：登別温泉湯の花町内会長

- ・ ゼロカーボンに向けて市民も取り組んでいるところであるが、自然を切り拓いてまでというのはどうかと思う。国は自然を切り拓くことに対して何の考えもないのか。
- ・ 将来的に再生可能エネルギーは必要になると思うが、登別市は条例を設け、自然を大事にしているという意思を表示し、道や国に対し歯止めを掛けてほしい。

回答：市民生活部長

- ・ 自然と環境という点で市民生活部から回答する。登別の自然を守る会と複数回対話をしているが、そちらからも条例制定を求められている。しかし、ガイドラインが令和5年4月に施行されて間もないため、まずはその状況を見させてほしいと話をしている。
- ・ 実際、届出を含めた問い合わせは11件あるが、それはガイドラインを設けた一定の効果と考えている。ただし、条例化については否定するものではない。今ある法律の中でもさまざまな規制があるが、条例を設けている自治体が246あると聞いている。
- ・ その中で土砂災害警戒区域などのような一般的な規制をしているのか、あるいは皆さんの仰るように景観を守る視点から規制をしているのか、参考になる事例を並行しながら学んでいる最中。その中で合致するようなどころがあれば、ガイドラインのさらなる規制や条例化について定かではないが、観光経済部と連携して進めていこうという状況。

意見：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 令和4年度に再生可能エネルギー発電施設について質問した際は、北海道でも設置許可について担当が定まっていないという回答だったように記憶している。その辺を踏まえて登別市では規制を先々考えていってほしい。

回答：副市長

- ・ 社会全体でゼロカーボンへの動きが大きく、新エネルギーや再生可能エネルギーが再評価されている。ただし、登別市は観光地の観点から、景観への影響に心配がある。一方でゼロカーボンへの取り組みは、将来を考えるといろいろな形で進めなければならない。
- ・ ただし、太陽光発電施設の設置場所について考えるとき、過剰な規制で土地所有者の権

利を阻害するようなことはないように気を付けなければならない。また、現在でもさまざまな省庁で規制を行っており、市で条例を設ける場合、それらの法令との整合性をとっていかなければならない。

- ・ なお、景観を大事にするという主張についても、主観が大きいため客観的な線引きを見定めていきたい。

意見：登別温泉地区連合町内会長

- ・ 景観の点に関しては、数年前に太陽光発電施設について好ましくない地域を市と話し合った。そのあたりを再確認していただきたい。

8. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項：(2) 温泉地区複合施設の建設について

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 登別温泉地区連合町内会として以前から要望している複合施設の建設について引き続き要望したい。

回答：総務部DX推進室長

- ・ 登別温泉地区の公共施設全体のあり方については、登別温泉地区連合町内会をはじめ、地域の皆さんと地区懇談会の場などにおいて意見交換を行ってきたところであるが、登別国際観光コンベンション協会や公共交通事業者においては、費用負担など諸課題を勘案すると、複合施設設置への意向は無いなど、これらの状況を登別温泉地区連合町内会と共有した上で、当面の複合施設設置は無いものと判断したと考えている。
- ・ しかしながら、地域コミュニティの活動を支援する施設の必要性は認識していたので、市において旧室蘭信用金庫登別温泉支店の土地及び建物を取得し、泉和園及び泉和園内児童室を移転することとなった。
- ・ 移転先の施設では、現施設に引き続き、集会施設、児童室及び選挙区投票所の機能を有するとともに、施設自体が土砂災害警戒区域外に位置するほか、防災備蓄品を保管場所とするなど防災機能も有しており、現施設よりもさまざまな用途で施設を利用していただけると認識している。
- ・ まずは、登別温泉地区の皆さんに新たな泉和園を数多くご利用いただき、ともに施設の魅力を最大限に引き出せるよう努力していくことが肝要であると考えている。

その他：・(仮称)登別温泉地域街並み景観形成検討会議について

・JR登別駅のエレベータ設置の進捗状況について

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 登別温泉地区では平成27年度に登別温泉旅館組合や当時の登別観光協会などと協議し、登別温泉街の将来構想を作成するとして「(仮称)登別温泉地域街並み景観形成検討会議」という組織の立ち上げの説明を受けたが、その後の知らせが当地区連にはない。そのあたりはどう進められているのか。

回答：教育部長

- ・ 当時の観光振興グループの状況を把握しているため私から回答する。当時、登別温泉地区連合町内会長と事務局長に会議に参加していただいた。当時、会長からは「大勢でこういった話し合いを行っても進まないため、少人数で決めていくべきではないか」という趣旨の話があった。その会議の中ではコアな会議を開催し、若い方と一緒に考えようという話もあった。そのような意見から話し合いを重ねてきたが、そこで出た案を実現するためには大きな費用が掛かることが見え、一度話し合いが滞った期間もある。
- ・ しかし、入湯税を引き上げて財源を確保しながら、もう一度まちづくりの話し合いをできないかと考えている。まずはJR登別駅のエレベータを整備し、その後、また話し合いを進めていければという状況である。

回答：市長

- ・ 入湯税引き上げ分をJR登別駅のエレベータと跨線橋を整備する財源に充てているが、昨今報道でもあるように宿泊税の問題も考えなければならない。そのため、JR登別駅整備の支払い終了後、ゼロベースでまちづくりについて検討していけたらと考えている。

質問：登別温泉地区連合町内会長

- ・ 今の話にあった登別駅のエレベータ設置の進捗状況をお聞かせいただきたい。

回答：観光経済部長

- ・ 登別駅を含む周辺の工事については進んでいる。エレベータもJRで工事を発注済みで、令和7年には完成する予定。また、ホームや旧駅舎の工事についても進んでおり、全て完了するのは令和8年の見込み。

その他：・ 他の競合温泉地域に負けないインフラ整備について
・ 市内の外国人研修生について

質問：登別温泉地区連合町内会長

- ・ 昨年市長と話をした際、観光業は基幹産業であると回答をもらっている。それに関し、他の競合温泉地域に負けないインフラ整備について行っていただけるのか確認したい。
- ・ また、市内に外国人研修生はどれくらいいるのか。

回答：市長

- ・ 登別温泉のインフラについて、話をいただいていた当時は入湯税の超過税率を活用して将来考えていきたいとしていた。しかし、現在は北海道から宿泊税の話が出てきたため、改めて入湯税懇談会を行い考えていく必要がある。
- ・ 外国人研修生については、ホテルや旅館、医療機関でも少しずつ入れているという話を聞いている。登別商工会議所や登別国際観光コンベンション協会、医療関係からも外国人

研修生の住まいについて問い合わせをいただいている、庁内でも検討を開始している。

- ・ しかし、民間の動きが多いため、現在、市から町内会へ開示できる情報が少ないため、そこについては時間をいただきたい。

意見：登別温泉地区連合町内会長

- ・ 自分の聞き及んでいる範囲では外国人労働者200名を超えているとのことで、今後拡大していくと考えられる。そうなった場合、学校の問題が出てくる。統合などについて拙速な判断を行わないようお願いしたい。

回答：市長

- ・ 登別中学校については統合まで4年間ある。じっくり検討を重ねていきたい。

その他：旧JCHO跡地の今後について

質問：登別温泉地区連合町内会事務局長

- ・ 旧JCHOの跡地について、進展があれば情報提供いただきたい。

回答：観光経済部長

- ・ 令和5年6月の市長定例記者会見でJCHOから市に入ってきた情報を提供している。その中でJCHO側は建物を解体して売却したいという意向を示し、その後動きがあれば連絡をいただけることになっている。現在のところ続報はない。解体や入札する場合はJCHOのウェブサイトで周知されることになると思われるが、それについても更新はない。

その他：市内小・中学校への空調設備導入について

質問：登別温泉湯の花町内会長

- ・ 今夏は異常な暑さであったが、学校へのエアコンの導入は考えているのか。

回答：教育部長

- ・ 学校ごとに個別判断で空調設備をするしないという話にはならないと考えている。どのように小・中学校に空調設備を導入するかは新年度予算に向けて検討中。令和6年度に導入すると確約はできないが、検討中であるという状況。

その他：登別温泉街へ至る旧道の入口について

質問：登別温泉湯の花町内会長

- ・ 登別温泉へ行く道は、現在新しくできた道と旧道がある。自転車で登別温泉街に行く場合、旧道を通ることができるが入口が分かりづらい。

回答：市長

- ・ 該当の道路は北海道の管理であるため、道へ話をする。